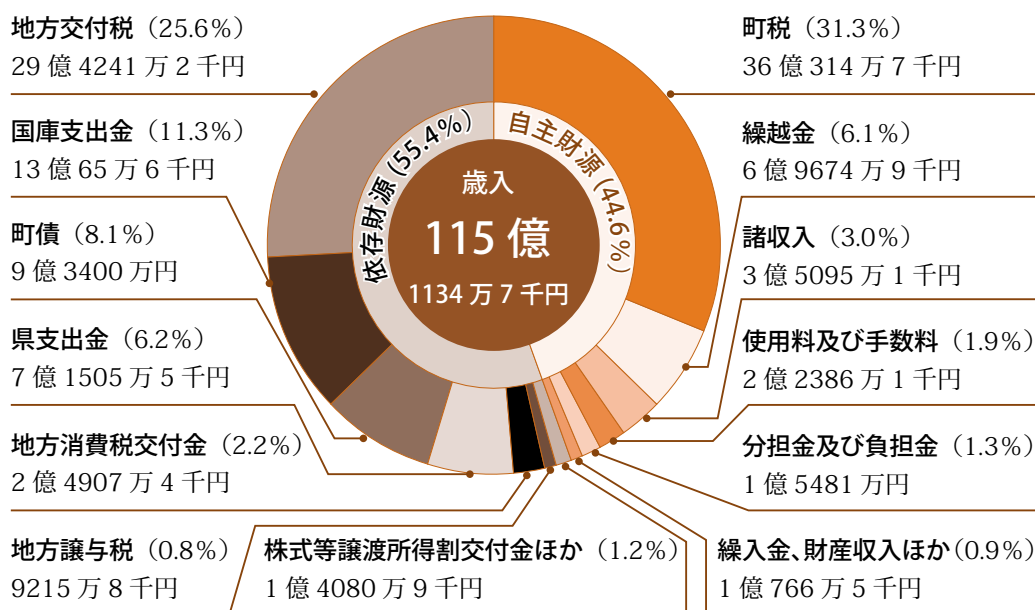


# 決算

## 10億2684万8千円の黒字



平成25年度の決算が平成26年町議会第3回定例会で認定されました。皆さんに納めていただいた大切な税金などが、住みよいまちづくりなどにどのように使われたのか、平野小学校運営委員の中川翔貴さんと山本優歩さんの2人とともにその概要を紹介します。

問 企画財政室財政課 ☎ 34・2072

### 一般会計

10億2684万8千円の黒字

一般会計の決算額は、歳入が115億1134万7千円、歳出が104億8449万9千円となり、差し引き10億2684万8千円の黒字決算となりました。

繰越明許費として翌年度に繰り越すべき財源が1億4769万7千円ありますので、これを除いた実質の黒字は8億7915万1千円になりました。

### 歳入

歳入のうち、自主財源の合計は51億3718万3千円、前年度と比較して2億4744万8千円増加しました。主な要因は、消防の



中川翔貴さん  
(平野小6年)



山本優歩さん  
(平野小6年)

広域化に伴い山辺広域行政事務組合が解散し還付金が生じたことなどにより、諸収入が2億9097万6千円増加したことによるものです。主な自主財源である町税は、前年度より538万1千円増加し36億314万7千円となりました。

依存財源は、前年度と比較して2億2897万円増加しました。主な要因は、補助事業費の増により国庫支出金が2億3468万3千円増加したことなどです。主な依存財源である地方交付税は237万6千円増加し、29億4241万2千円となりました。

### 歳出

歳出合計は、前年度と比較して1億4631万9千円増加しました。主な要因として、

新ごみ処理施設の整備や、国から選定を受けたクラウドモデル型の健康管理システム開発実証などにより衛生費が3億6299万1千円増加し、唐古・鍵遺跡の公有化や小・中学校の耐震工事などにより教育費が8570万9千円増加したことによるものです。

また公債費は、町債の償還の終了や借換額の減少などにより2億6851万2千円減少しました。

### 特別会計

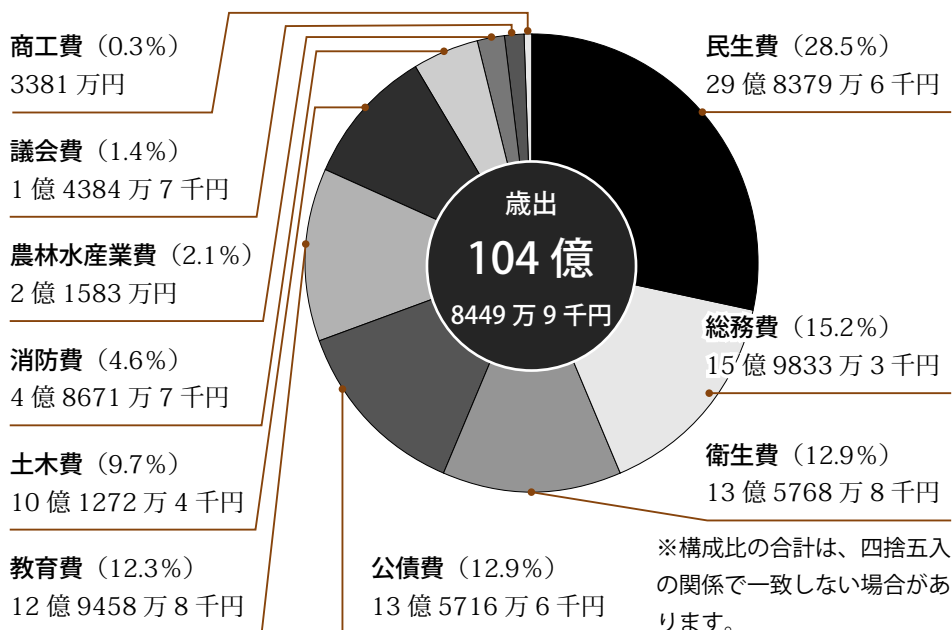
6つの決算はすべて黒字

特別会計とは、特定の事業を行うための経費を一般会計と区別する必要がある場合に設置する会計で、6つの特別会計の決算額は左の表のとおりとなり、すべて黒字となりました。

用語の説明

- **町税**…町に納められる税金で、町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、都市計画税があります。
- **地方交付税**…一定の行政サービスの水準を維持するために、財政力に応じて国から交付されるお金。
- **国庫・県支出金**…特定の事業に対して国や県から交付されるお金。
- **繰入金**…基金の取り崩しや他の会計から繰り入れたお金。
- **町債**…主に建設事業の財源として町が金融機関などから借り入れるお金。
- **自主財源**…町税、使用料・手数料、諸収入など、町が自ら調達できる財源。
- **依存財源**…地方交付税、国庫・県支出金、町債など国や都道府県から定められた額を交付される財源。
- **議会費**…議会運営に関する経費。
- **総務費**…町の全般的な事務経費や、庁舎管理、徴税、戸籍、選挙、統計などの経費。
- **民生費**…社会福祉、高齢者、障がい者、児童福祉、人権啓発などの経費。
- **衛生費**…保健衛生、ごみ・し尿処理などの経費。
- **農林水産業費**…農業振興や生産基盤整備などの経費。
- **商工費**…商工業や観光振興などの経費。
- **土木費**…道路・河川整備、都市計画、住宅などの経費。
- **消防費**…消防や防災などの経費。
- **教育費**…学校教育や生涯教育、文化・スポーツ振興などの経費。
- **公債費**…事業を行うために借り入れたお金を返済するための経費。

# 一般会計決算は



独立採算で運営を行う公営企業に水道事業があります。決算額は下の表のとおりです。収益的収支は損益計算による当年度純利益が7248万3千円生じ黒字決算となりましたが、前年度からの繰越欠損金を合算した結果、当年度末累積欠損金は1億633万2千円になりました。

また、資本的収支は2億1622万6千円の不足が生じたため、過年度分損益勘定留保資金や積立金などで補填しました。

**水道事業会計**  
 収益的収支が7248万3千円の黒字

## 平成 25 年度会計別決算

(単位：千円／△はマイナスを表す)

会計名	歳入額	歳出額	差引額	
<b>一般会計</b>	<b>11,511,347</b>	<b>10,484,499</b>	<b>1,026,848</b>	
<b>特別会計</b>	国民健康保険特別会計	3,923,841	3,420,398	503,443
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,526	1,526	0
	公共下水道事業特別会計	1,723,718	1,723,718	0
	後期高齢者医療特別会計	360,815	360,319	496
	介護保険特別会計	2,270,555	2,248,850	21,705
	磯城郡介護認定審査会共同設置特別会計	14,398	11,620	2,778
<b>水道事業会計</b>	<b>収入額</b>	<b>支出額</b>	<b>差引額</b>	
収益的収入および支出	808,410	729,127	79,283	
資本的収入および支出	100,200	316,426	△216,226	

# 平成25年度は、こんな 事業に取り組みました

## 1

### 共に幸せを感じられる まちづくり

#### 放課後児童健全育成事業

▶▶▶▶ 2946万7千円

保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童を対象に、学童保育を実施しています。入所児童の増加に対応するため、平成25年度に平野小学校学童保育所の保育室を2室に増室しました。また、他の学童保育所についても保育室の修繕などを行い、引き続き保育サービスの充実を図っています。

#### 予防接種事業

▶▶▶▶ 7636万円

予防接種法に基づく定期予防接種を集団または個別で実施しました。また、昨年度は風しんが全国的に流行したことから、妊婦への感染を防止するため風しん予防接種（任意接種）の費用を助成しました。



▲各種予防接種を実施しました

#### 子ども・子育て支援事業計画策定

▶▶▶▶ 136万5千円

平成27年度から子ども・子育て支援法が本格施行されることに伴い、幼児教育・保育や地域の子育て支援などの事業量の見込みや方策などを盛り込んだ「子ども・子育て支援事業計画」を平成25年度・26年度で作成しています。昨年度はアンケート調査などを実施しました。

## 2

### 人が生きいきと輝く まなびのまちづくり

#### 小中学校校舎の耐震化事業

▶▶▶▶ 1億2995万4千円

#### 幼稚園園舎の耐震診断事業

▶▶▶▶ 4872万円

教育現場での安全確保や災害時に避難場所として役割を果たせるよう、北小学校南館・田原本中学校北館の耐震工事と、東小学校南館の耐震設計を行いました。また、南幼稚園・平野幼稚園園舎の耐震診断を行いました。



▲耐震工事が行われた北小学校南館

平成25年度に行った主な事業を、田原本町第3次総合計画の6つの基本施策分野ごとに紹介するよ。



5

## 活力湧き出る産業振興 のまちづくり

### 農業基盤対策事業

▶▶▶▶ 8462 万 2 千円

### 土地改良施設維持管 理適正化事業

▶▶▶▶ 721 万円

### 水利施設整備事業

▶▶▶▶ 4000 万円



▲八尾地区などの大型井堰の改修工事を行いました

良好な田園の維持と効率的な農業の推進を図るため、水路などの農業基盤整備を行いました。また、農業用水を河川から取水する井堰<sup>せき</sup>の老朽化が進んでいることから、既存施設の有効活用や長寿命化を図るため、補修が必要な井堰の機能保全計画を策定しました。

3

## 都市基盤が充実した まちづくり

### 笠縫駅周辺放置自転車 対策事業

▶▶▶▶ 4420 万 1 千円

近鉄笠縫駅周辺の放置自転車対策として、駅東側に駐輪場を整備しました。また、笠縫駅東改札の自動改札機改修に伴う経費を負担しました。



▲ 4 月 1 日から利用を開始した笠縫駅前自転車駐車場（東側）

### 橋梁長寿命化修繕事業

▶▶▶▶ 2789 万 6 千円

町が管理する橋梁の老朽化が今後進んでいくことから、計画的な点検・補修を行い安全かつ健全な橋梁の維持管理を目指しています。平成 25 年度は寺川橋など 3 橋の修繕工事と 1 橋の補修設計を行いました。

6

## 効率的な計画推進を めざしたまちづくり

### 基幹業務システムの共同化事業

▶▶▶▶ 5912 万 4 千円

基幹業務システムの共同化については、近隣 7 市町で自治体クラウドを活用して実施しており、電算経費の削減と業務の効率化を図っています。

4

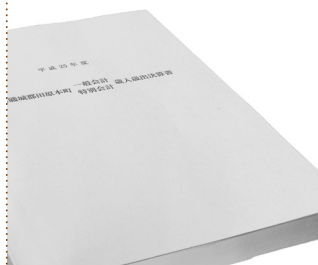
## 快適に生活できる まちづくり

### 唐古・鍵遺跡史跡公園整備事業

▶▶▶▶ 1 億 256 万円

国史跡である唐古・鍵遺跡を、町民の憩いの場になるとともに歴史・自然学習の場として提供し、また観光の拠点となるよう、史跡公園として整備を進めています。平成 25 年度は、本格的整備に向け盛土造成工事と水路工事を行いました。

## 決算書を閲覧することが できます



町がどのような事業を行ったかは、決算書を見れば分かります。この決算書は、町役場 2 階情報コーナーや図書館で閲覧することができます。

### 新たなごみ処理施設の整備に向けた 取り組み

▶▶▶▶ 3 億 2099 万円

新たなごみ処理施設については、本町と御所市、五條市の 3 市町で構成する「やまと広域環境衛生事務組合」において広域処理施設の整備を進めています。また、持込ごみなどを新施設に搬送する中継施設の整備検討を行いました。



# 指標で見る 財政状況

まちの財政が健全かどうか  
指標などで紹介するよ。



## 財政力指数

自治体の財政力の強弱を示す指数

地方公共団体の財政力を示す指標で、標準的な行政経費に対する町税などの標準的な収入の割合で表されます。行政の仕事に必要な費用をどれだけ自力で調達できるかということです。数値が高いほど財政力があり、「1」を超えると普通交付税の不交付団体となります。

平成25年度の財政力指数は0・546で、前年度に比べ0・001高くなりました。

## 経常収支比率

財源の余裕を示す比率

地方公共団体の財政構造の

弾力性を示す指標で、町税などの経常的な収入が、人件費や公債費などの経常経費にどれくらいの割合で充てられているかを表しています。

家計に例えるなら、給料など毎月決まって入ってくるお金が、食費や光熱水費、ローンの返済など必ず支払わなければならない生活費にどれだけ使われているのかを示すものです。この比率が高くなるほど財源に余裕がなくなり、新たな施設や道路・公園などの整備に充てる費用が少なくなることを意味します。

平成25年度の経常収支比率は89・8%で、普通交付税などの経常的な収入が増加しましたが、それ以上に人件費や物件費などの経常経費が増加したため、前年度に比べ0・3ポイント上昇しました。

## 基金残高

町の貯金はいくら？

平成25年度末現在、普通会計には6つの基金があります。このうち町の純粋な貯蓄といえる財政調整基金と減債基金の残高合計は19億4438万9千円で、財政調整基金に5億1099万4千円を積み立てたことなどにより、前年度末に比べ5億1351万1千円増加しました。

また、特定目的のための基金として福祉基金、ごみ処理施設整備基金、住宅新築資金等運用基金、ふるさと応援基金があり、これらの残高合計は18億5645万7千円で、ごみ処理施設整備基金を5946万8千円取り崩したことなどにより、前年度末に比べ4312万2千円減少しました。

## 町債残高

町の借金はいくら？

町では、道路や学校などの公共施設の整備資金や、地方

交付税からの振り替えによる臨時財政対策債などの借り入れを行ってきました。

平成25年度末現在の普通会計の町債残高は113億8741万8千円で、前年度末に比べ2億6174万8千円減少しました。町債残高は平成16年度をピークに毎年減少しています。

## 健全化判断比率

町の財政状況の健全度を示す比率

健全化判断比率は、財政の健全化を測る4つの指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）のことをいいます。この4つの指標のうち一つでも早期健全化基準以上になると「早期健全化団体」に、財政再生基準を超えると「財政再生団体」になります。それぞれ早期健全化計画、財政再生計画を策定し、早急に財政健全化に取り組みなければなりません。

平成25年度決算に基づく4つの指標は、いずれも早期健全化基準を下回りました。

## 資金不足比率

公営企業の経営状況の健全度を示す比率

資金不足比率は地方公営企業に関する指標で、流動負債から流動資産を差し引いた「資金不足額」（下水道は実質収支額に相当）が、主たる営業活動から生じる収益（主に料金収入）である「事業の規模」に対してどの程度あるかを表しています。この指標が、経営健全化基準以上になると経営健全化計画を策定し、経営の健全化を図ることになります。

水道事業会計・公共下水道事業特別会計ともに資金不足額がないため該当はなく、指標上はいずれも問題はありませんでした。

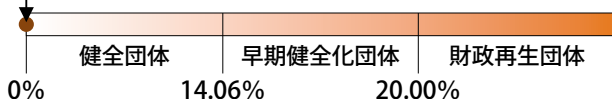
しかし、水道事業は、損益計算では平成25年度は黒字となったものの、累積欠損金が1億633万2千円にのぼっています。また、下水道事業においても、一般会計から多額の繰入を行っているなど、水道、下水道の経営は厳しい状況にあるといえます。

## 健全化判断比率

※実質収支、連結実質収支が黒字のため、実質赤字比率、連結実質赤字比率は「-」で表示。

### 実質赤字比率 (-)

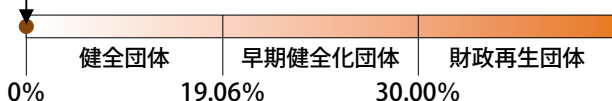
平成 25 年度 参考：実質黒字比率…12.62%



一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率です。平成 24 年度と同様に黒字のため該当ありませんでした。

### 連結実質赤字比率 (-)

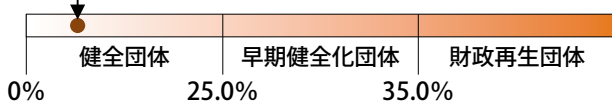
平成 25 年度 参考：連結実質黒字比率…27.44%



全会計を対象とした実質赤字（または資金の不足額）の標準財政規模に対する比率です。平成 24 年度と同様に黒字のため該当ありませんでした。

### 実質公債費比率 (7.3%)

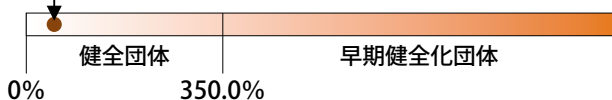
平成 25 年度



一般会計等が負担する元利償還金（交付税充当分を除く）と準元利償還金の標準財政規模に対する比率です。平成 24 年度と比べ 1.0 ポイント改善し、7.3% となりました。

### 将来負担比率 (44.3%)

平成 25 年度



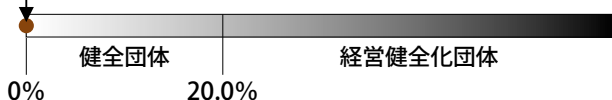
一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。平成 24 年度と比べ 7.5 ポイント改善し、44.3% となりました。

## 資金不足比率

※資金の不足額がないため、資金不足比率は「-」で表示。

### 水道事業会計・公共下水道事業特別会計 (-)

平成 25 年度

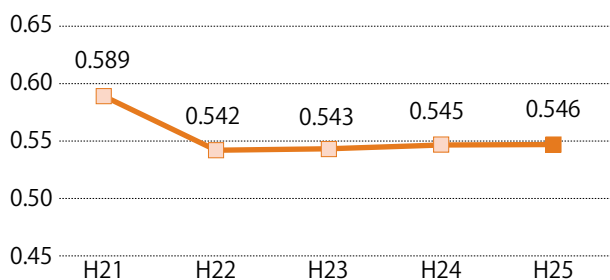


公営企業ごとの資金不足額が、事業の規模に対してどの程度あるのかを示すものです。平成 24 年度と同様に資金の不足額はありませんでした。

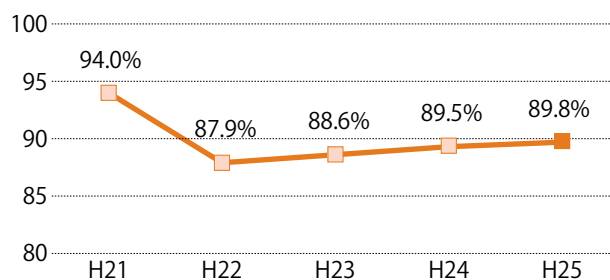
## グラフで見る 財政指標など



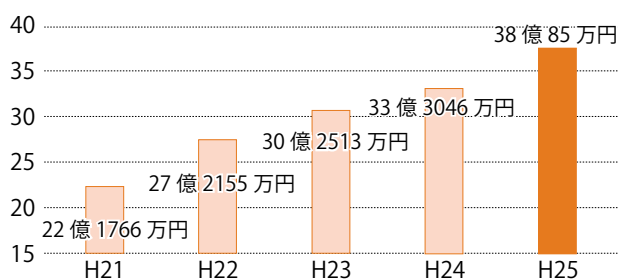
### 財政力指数



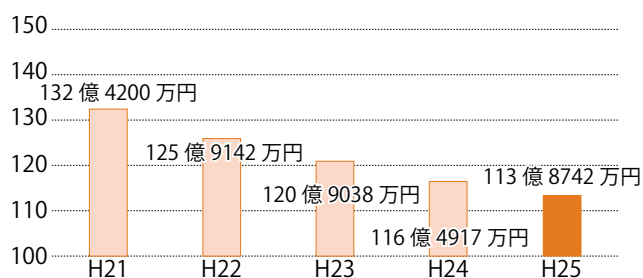
### 経常収支比率



### 基金残高 (普通会計)



### 町債残高 (普通会計)



普通会計：一般会計と住宅新築資金等貸付事業特別会計などを合わせた会計です。